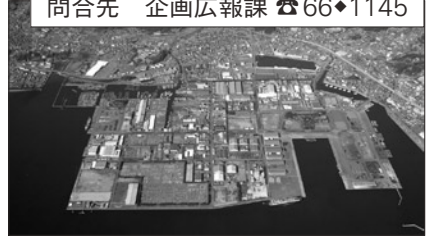




生命の海科学館



東港埋立地



浜町工業団地

市長 マニフェスト（公約）の

実現に向けて

市では、3選を果たした市長の公約を具現化するため、3つの委員会を昨年11月に立ち上げました。この委員会は、市民から公募した市民代表のほか、市議会議員、学識経験者などで組織されています。

今号では、この委員会についてお知らせします。

蒲郡市企業用地確保検討委員会

市 長が唱える基本施策の3本柱のひとつ「明るく元気なまち蒲郡」を目標に、あらたな企業誘致のための候補地を選定するものです。既存の浜町や民成地区（相楽町）に続く用地を確保することで、商業・産業の活性化や税収入の増加を図ります。

すでに、1回目と2回目の委員会を開催し、委員から28カ所の候補地を挙げていただいています。今後は2カ月に1回程度開催し、検討を重ねた上で候補地を市長に提示します。

詳しい内容は、市のホームページ（www.city.gamagori.aichi.jp/toshikai/eikaku/toshikeikaku/kiyoyouchi.html）で、会議の要旨を掲載しています。

問合せ 計画開発課 ☎66◆1142

東港活用検討委員会

市 は、「海のまちづくり」を進めており、この中核ゾーンの1つとして蒲郡駅から竹島間のエリアの整備に取り組んでいます。この一環として、昭和63年3月に策定した「三河港ポータルネットワーク」に沿って、東港を埋め立てしてきました。しかし、その後いろいろな事情から計画が中断状態になっています。

この委員会では、この中断している原因と課題を整理し解決策を検討していきます。また、東港の活用方法についても法的な制限との整合性を図りながら検討します。現在、委員会では、12月に1回目を開いて委員同士の顔合わせを行い、2回目は東港の現地視察と東港活用に向けた課題を話し合いました。

詳しい内容は市のホームページ（www.city.gamagori.aichi.jp/kikaku/kikaku/higashikokento/higashikokento.html）で、会議の要旨を掲載しています。

問合せ 企画広報課 ☎66◆1162



東港活用検討委員会

生命の海科学館 見直し検討委員会準備会

生 命の海科学館は、廃止論、存続論、見直し論などいろいろな意見が市に寄せられています。そうした意見を受け、科学館のあり方などを議論していく検討委員会を設置することになりました。しかし、両極端な意見があるため、慎重に検討する必要がありますと判断し、委員会の構成メンバーや選出方法などを議論する準備会を設け、2段階で協議していくことになりました。準備会は2回開かれ、検討委員会の構成メンバーを準備会の委員に新たな委員を加えることで決定しました。また、要綱案もできあがり、協議記録とともに市長へ報告書を提出しました。

要綱案の目的には、市民にとって最善となる生命の海科学館の活用方法を検討すると掲げています。今後は、廃止、存続、見直しなど、各委員の活発な意見が求められます。詳しい内容は市のホームページ（<http://www.city.gamagori.aichi.jp/kentoinkai/kagakukan/junbikahtml>）をご覧ください。

問合せ 情報ネットワークセンター・生命の海科学館 ☎66◆1717



生命の海科学館準備委員会